

10/19 東京

「息子の統一協会の洗

脳を洗ぐためマンショ

ンを借りて4ヶ月間ござ

りました。自宅を離れ、

家族は全員休職。でも、

息子が助かるなら仕事が

なくなつても家がどうな

つともかまわないと願っ

てやらぬきました」。

大阪府の70代女性が、統一協会から息子を脱会させた経験を日本共産党的富本田志衆院議員と辰巳泰太郎元参院議員に次のように切々と語りました。

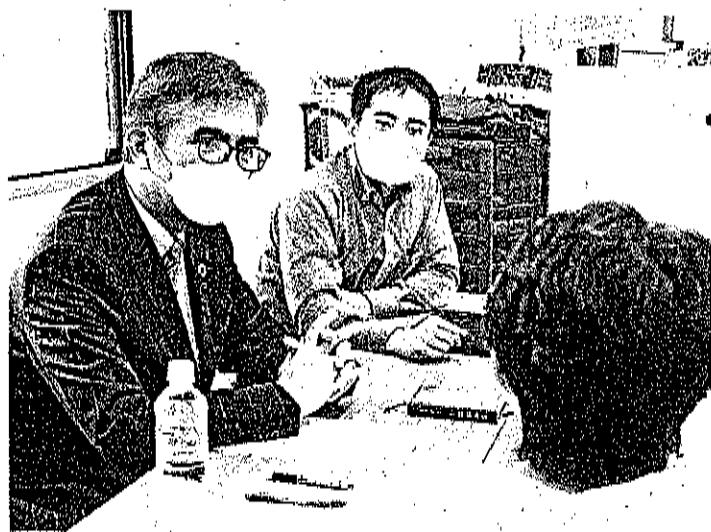
(速水大地)

# 息子を救った母は解散命令当然だ

うないルールを作る。徐々に「自分で判断する」と「論理的」と思われるのです。息子は統一協会の寮に移り、協会系企業「一心救助」で魚商バイトし、「学内」「廻り」をつぶし役割を担われたようだ。

キリスト教会に

救出は、その方法を学ぶため、統一協会じたたかうキリスト教会に私たち家族が毎週通っていました。始めました。相談会で、元信者や家族から最初聞いたのは「決して妥足してはいけない」でした。



(左から) 宮本、辰巳の両氏に語る女性=大阪府

## 「統一協会は若者の将来を奪う集団」

おどりでも救出したかったですが、家族の気持ちがそれまでは実行できず、準備の力用がかりました。キリスト教会からカーサインが出るといふの下、近隣の田舎の田舎に囲まれたマンションの壁、2LDKの部屋を借りました。12月のおおむね、私の父の法要を計画して息子を帰省させ、車でマンションに移動。そして家族みんなで統一協会について学びたいと決意しました。「報連相」できぬよう電話をなくし、息子と私夫、娘、私の母で部屋から一步も出ない生活が始まりました。

2月1日、1回牧師が来て

統一協会の聖典『原理論』とキリスト教聖書の違いを比べながら学習。息子は孝心がなく、逃げようと思つて壁に穴が開き、わざとケガや病気をする。「反牧(統一協会に反対する牧師)対策」を受け、脱会させられることを恐れていたのです。管理人からは田ていってくればと過かれました。

マインドコントロールの方法は「報連相」として、息子に「上回」を1人づけ、何でも親切・連絡・相談しなければな

ったのですが、家族の頭で考えられないがでてきたのでしょ。息子は脱会を決意。久しぶりの外。私が本当にきれいでした。その後、キリスト教会内で8ヶ月のリハビリ生活を送り、院生は辞めましたが無事、大学を卒業。キリスト教会の助けと家族全員の力です。人権を無視したように見えます。見える方法に思い悩みましたが、後に息子から「あれしか選れる方法がなかった」という言葉を聞き、私は何とか自分を納得させています。

当時、最も驚いたのは「統一協会が国會議員の秘書に会員を送り込んでいる」と聞いたことです。そして今、報道で統一協会と国民党や維新との関係がここまで深いことが驚いています。彼らは若者を利用して将来を奪おうとした集団。解散命令はもうろん、疑惑を明らかにしてほしいです。